

寅さん歩 その5-10

東京の桜 2020



平野 武宏

今年の「東京の桜」は歴史に残る出来事で未永く語り継がれることでしょう。まずは「開花」と「満開」の時期です。東京管区気象台は靖国神社にある「桜標本木（ソメイヨシノ）」を開花観測するために指定しています。

開花は2020年3月14日と発表（平年より12日早く、昨年より7日早く、観測を始めて以来最も早い開花）しました。更に満開は3月21日と発表（平年より12日早く、昨年より5日早く、2002年の3月21日に次ぐ）しました。

また、「新型コロナウイルス感染拡大」は世界的大流行（パンデミック）、爆発的患者急増（オーバーシュート）となり、日本ではイベントの自粛（各ウォーキング協会の例会も中止）、お花見での宴会も中止となりました。人の密集、換気の悪い密室空間、近距離での会話の3条件がそろう場所は避けること。3条件を避けた外での運動は必要とのガイドも出ました。一人歩きのお散歩で満開の桜を人が密集しない、朝早くに訪問しました。3月26日の東京都知事の不要不急の外出自粛要請が出る前です。

〔靖国神社の桜〕 千代田区代田区九段北 3-1-1

最寄駅 東西線 九段下駅1番



写真上左は境内の拝殿手前右の広場にある「標本木」です。後は能楽堂で、満開発表2日後の2020年3月23日の撮影です。

写真上右は拝殿・本殿の裏手にある「神池庭園」方面に咲く桜も見頃です。参拝者無料休憩所もあります。

〔小石川後楽園の枝垂桜〕

文京区後楽 1-6-6 最寄駅 大江戸線 飯田橋駅C3

小石川後楽園は江戸時代初期、1629年（寛永6年）に水戸徳川家の祖である頼房が、その中屋敷（のちに上屋敷）に造ったもので、二代藩主の光圀（水戸の黄門様）の代に完成した庭園です。庭園の様式は池を中心にした「回遊式築山泉水公園」になっています。光圀は、造成に当たり明の遺臣 朱瞬水（しゅしゅんすい）の意見を用い、中国の風物を取り入れ、園名「後楽」も朱瞬水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園です。国の特別史跡・特別名勝に指定されています。この重複指定は、全国でも小石川後楽園、浜離宮恩賜庭園、金閣寺など、ごく限られています。写真下は正面にある「枝垂桜」で、2020年3月21日撮影です。「枝垂桜」の文字は案内パンフレットの表現を使用しています。この庭園の梅、花菖蒲、紅葉の写真は撮りましたが、満開の枝垂桜は初めてです。入場料は一般300円、65歳以上150円ですが、寅次郎は9庭園共通の年間パスポートで入場（パスポートは一般4000円、65歳以上は2000円です。）開園は9時～17時、休園日は年末年始（12月29日～1月1日）です。5月4日（みどりの日）、10月1日（都民の日）、シルバーウィーク（別途定める）の無料公開日があります。寅次郎の家からバス利用約30分で到着です。



〔六義園の桜〕 文京区本駒込 6-16-3 最寄駅 JR 駒込駅北口・南口

六義園は五代将軍 徳川綱吉の信任が厚く、御側用人から大名に出世した川越藩主 柳澤吉保が1702年（元禄15年）に築園した和歌の趣味を基調とする「回遊式築山泉水の大名庭園」です。園名は中国の詩の分類法（詩の六義）にならった古今集の序にある分類の六体に由来したものです。和歌の浦の景勝、和歌に詠まれた名勝、中国古典の景観が八十八境として映し出されています。

江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となりました。1938年（昭和13年）岩崎家より東京市（都）に寄付され、1953年（昭和28年）に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。入園料は一般300円、65歳以上150円、寅次郎は9庭園共通の年間パスポート所有です。開園は9時～17時、休園日は年末年始（12月29日～1月1日）です。5月4日（みどりの日）、10月1日（都民の日）、シルバーウィーク（別途定める）の無料公開日があります。寅次郎は家から歩いて約25分で到着です。年間パスポートは混雑時には別の行列から入場が来て便利です。



写真上左は正門から庭の中心に入るための内庭大門の広場にある「シダレザクラ」の大木です。写真上右は庭園の一番奥に咲くシダレザクラの高木です。



2020年3月24日撮影です。「シダレザクラ」の文字は案内パンフレットの表現を使用しています。写真上右が咲いている場所は「藤代峠」（写真左）の後側で、あまり人が来ない場所です。「藤代峠」は庭園内で一番高い築山で、標高は35m、いただきは「富士見山」と呼ばれ、素晴らしい展望が開けます。紀州（現在の和歌山）にある同名の峠から「藤代峠」と名付けています。お殿様になった気分ではばしの間、庭園内を眺めました。

写真右は同日の2013年3月24日撮影の「シダレザクラ」です。こちらの方が枝振りが立派ですね。庭師さんに聞いてみたら年々衰えているので、手入れをしている。2年～3年後にはもう少し枝振りは良くなると思うとのことでした。





2013年は寅次郎が東京に引っ越した翌年で、初めてこの桜を見て感激して、ライトアップにも来て、夜桜を堪能しました。

2020年は新型コロナウイルスの感染防止でライトアップは中止です。

申し遅れましたが、説明板には〔この桜は昭和30年代に、東京都によつ

て植栽されたものです。この「シダレザクラ」は「エドヒガン」という桜の品種の中で、枝が柔らかいため垂れながら成長していく種類のもので、「ソメイヨシノ」より少し早くお彼岸の頃に咲きますが、4月に入ってから満開になる年もあるそうです。〕と記載。庭園入口には毎日の開花状況が表示されており、本日は「見頃」でした。今年の開花は3月11日とのことです

【染井霊園の桜】 豊島区駒込 5-5-1 最寄駅 JR 巣鴨駅

1872年（明治5年）に開設された墓域6万7000平方メートルにおよぶ都営の共同墓地。以前は、建部内匠頭の下屋敷です。駒込は「ソメイヨシノ」の発祥の地で墓地内にも見事なソメイヨシノがあります。寅次郎の妻の実家のお墓があり、祖父母・父母が眠っています。二葉亭四迷、高村光雲・光太郎・智恵子。岡倉天心、若槻礼次郎、幣原喜重郎らの著名人が数多く眠っています。

寅次郎の家から歩いて巣鴨のとげぬき地蔵を抜けて約20分で到着し墓参りを兼ねたお散歩コースです。写真下は2020年3月22日お彼岸のお参りに来た時に撮影しました。例年と異なり、今年は開花が早く、見頃の時期となりました。



〔寅次郎のつづやき〕桜にも格差社会の到来だ！？

「つづやきシロー」というお笑い芸人がいますが、今年の桜を見て回り、寅次郎がつづやきました。今までは早く咲いている桜を見て「桜にもせっかちな性格があり、早咲きの木だ」、遅れている桜は「桜にもスローな性格があり、遅咲きの木だ」と納得していました。今年の東京の桜の開花・満開発表を聞き、寅次郎のその考えは変わりました。

東京の桜は開花したと言っても、エリアによって満開の桜とまだつぼみの桜が混在しています。靖国神社は満開で四谷はまだ2分咲きと差がありました。

これは「人間の社会と同じように桜の社会にも格差社会の到来だ！」と考えました。持って生まれた遺伝子で他の桜よりも早く満開となる桜、いくら努力しても持って生まれた遺伝子でなかなか咲かずにいる桜です。今回の写真に登場しているのは「裕福な育て方を受け、咲き誇るエリート桜」なのです。

この格差は益々広がり、桜の貧富の差が拡大することでしょう。

〔バーチャルウォーク途中報告〕

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川コース（380km）と東京都コース（160km）のバーチャルウォークがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されました。寅次郎、1月30日 神奈川コースの箱根町をスタート、伊勢原市、小田原市、大磯町、平塚市、茅ヶ崎市、藤沢市、三浦市、横須賀市を經由して3月21日鎌倉市の鶴岡八幡宮に到着しました。

今後は海老名市へ向かいます。

神奈川コースの後には東京都コースに挑戦します。



3月26日福島県をスタート予定の全国聖火リレーは中止となりましたが、バーチャル聖火リレーは不滅です。しばらくは新型コロナウイルスの感染拡大防止で例会が中止になりますので、マイコースのお散歩の距離を累計するバーチャルウォークを始めませんか。密集状況を避けながら、一人で歩くYRコース散歩もお勧めです。

次回は 東京の博物館めぐり-7 です。

平野 寅次郎 拝